



# 学校だより

令和4年6月30日  
横浜市立仏向小学校

7・8月号

## 地域で育まれる子どもたち

校長 大嶋 智子

5月16日に、仏向小学校第1回学校運営協議会、5月18日には、橘中学校ブロック地域懇談会が開催されました。ここには、仏向小学校の子どもたちの健全な育成を願う方々が集いました。自治会、PTA、地域コーディネーター、放課後キッズ等の学校関係者の皆様から、教職員だけでは見えなかった子どもたちの様子をうかがいました。

○公園は、たくさん子どもたちが集まり、賑わって嬉しい。ただ、利用ルールが守られず、ゴミの散乱や自転車の乗り入れ、ベンチ（健康器具）の靴跡汚れなどが連日あり、自治会で対応しきれず、困っている。

○子どもたちや保護者の方々とも顔を合わせる機会がなくなり、見守りに出ても互いの挨拶の声が少なくなってきた。さみしい気持ちになる。

○登校時の見守りは、PTA 校外委員会が担っているが、地区によっては輪番の負担が重くなっている。交通事故は、下校時間帯の発生が多い。地域の方々のお力を借りて見守りを厚くし、交通安全・防犯、そして子どもたちのあいさつの相手となっていただけないだろうか。

○以前、子どもたちがとても楽しみにしていた“たかのこまつり”を復活させたい。今年度スタートの「仏向小学校地域学校協働本部」の地域コーディネーターが中心となって11月12日土曜日に計画している。地域交流の場や、総合的な学習の発表など、持続可能な開催方法を検討していきたい。

○中学校の学校環境がすばらしい。久しぶりに来校したが、敷地内や教室、廊下にゴミが落ちていない。窓がピカピカ。トイレもきれい。このような学習環境だから、落ち着いた中学生に育っているのだろう。どのお声も、子どもたちの笑顔を中心に据えたありがたいご意見ばかりでした。早速ゴミが散乱しているという公園に行ってみると、確かに地域の方々がお心を痛める様子がみてとれました。



『地域は、世界への入り口』。地域で活動できる子は、実社会やその先に続く世界に通じる人材になっていきます。仏向小学校の子どもたちには、自分たちの住む地域を大切に思う心を持ち、地域の方々に学び、地域で生きていける子どもたちに育ってほしいと願っています。

総合的な学習の時間や生活科等の学習では、今年度も地域に目を向けた課題に取り組む学級が多くあります。校長室に活動計画の相談にくる子どもたちもいます。ワクワクしている子どもたちの瞳と意欲を、地域の皆様のお力をいただいて応援していきたいと思っています。